

# 実績氾濫区域図（S34.9洪水下流）



1/50,000地形図より



# 実績氾濫区域図（S34.9洪水中流）

上流多雨型のこの洪水では、中上流部において大きな浸水被害が発生しました



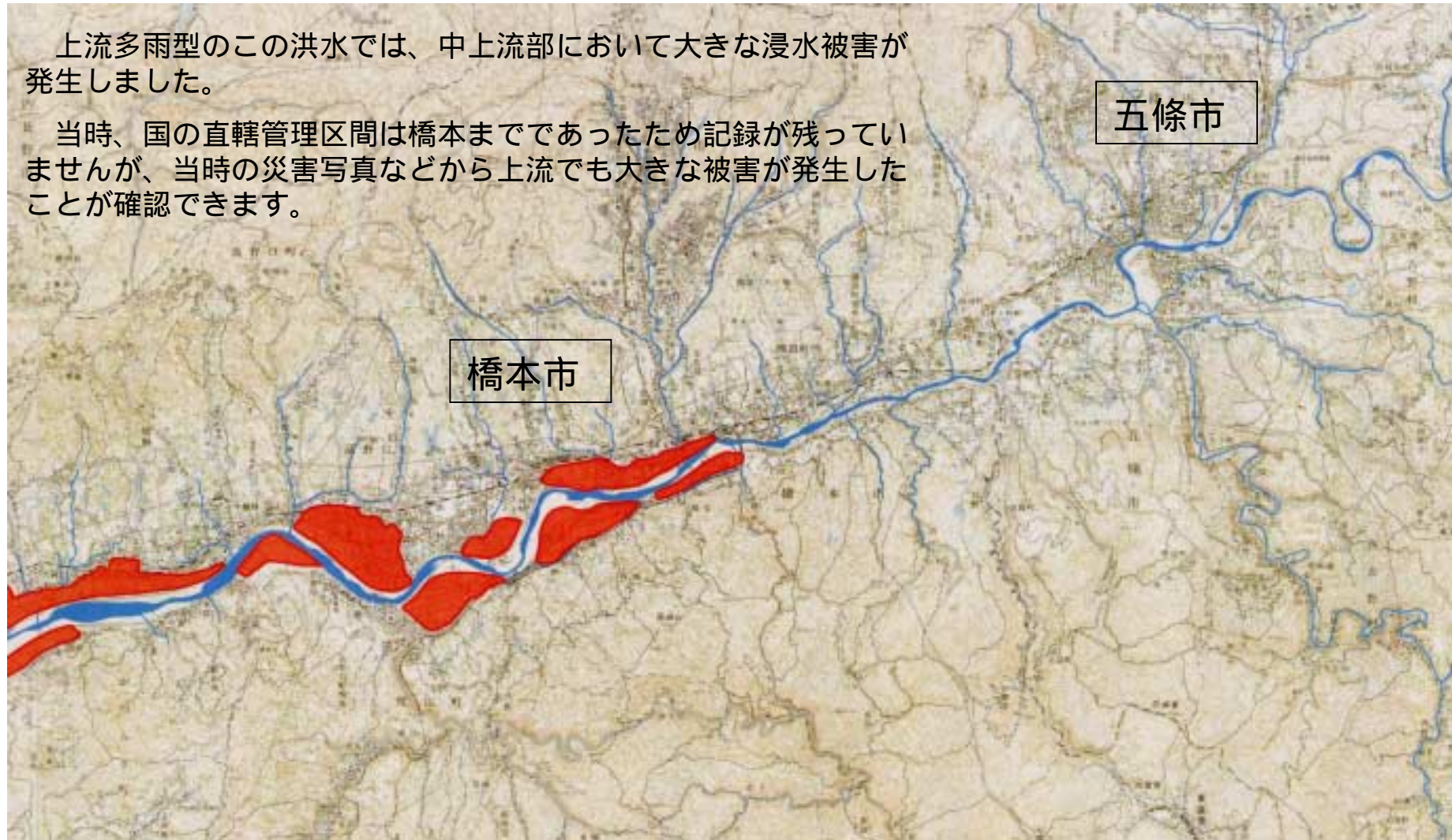
1/50,000地形図より



# 実績氾濫区域図（S34.9洪水上流）

上流多雨型のこの洪水では、中上流部において大きな浸水被害が発生しました。

当時、国の直轄管理区間は橋本までであったため記録が残っていませんが、当時の災害写真などから上流でも大きな被害が発生したことが確認できます。



1/50,000地形図より



# 被害状況

昭和34年9月に襲来した台風では、特に上流の大台ヶ原などの山岳地帯に降雨が集中し、上流部を中心に大きな被害が発生しました。



吉野町上市付近では、400mにわたり国道169号線が決壊した。



五條市の国道168号線大川橋は、またたく間に流失した



吉野郡川上村高原付近の山津波



昭和34年9月 伊勢湾台風  
死傷者71人、全半壊等347戸、  
床上浸水3180戸、床下浸水1917戸

# 等雨量線図（2日雨量）

< 昭和36年10月 前線 >

上流多雨型の台風であり、大台ヶ原で1,217mmを記録。

一方、中流の橋本で170mm程度、下流の岩出では150mm程度でした。



# 等雨量線図（2日雨量）

< 昭和40年9月 台風24号 >

上流多雨であり、大台ヶ原で470mmを記録。

中流の橋本で180mm程度、下流の岩出では170mm程度でした。





# 等雨量線図（2日雨量）

<昭和47年9月 台風20号>

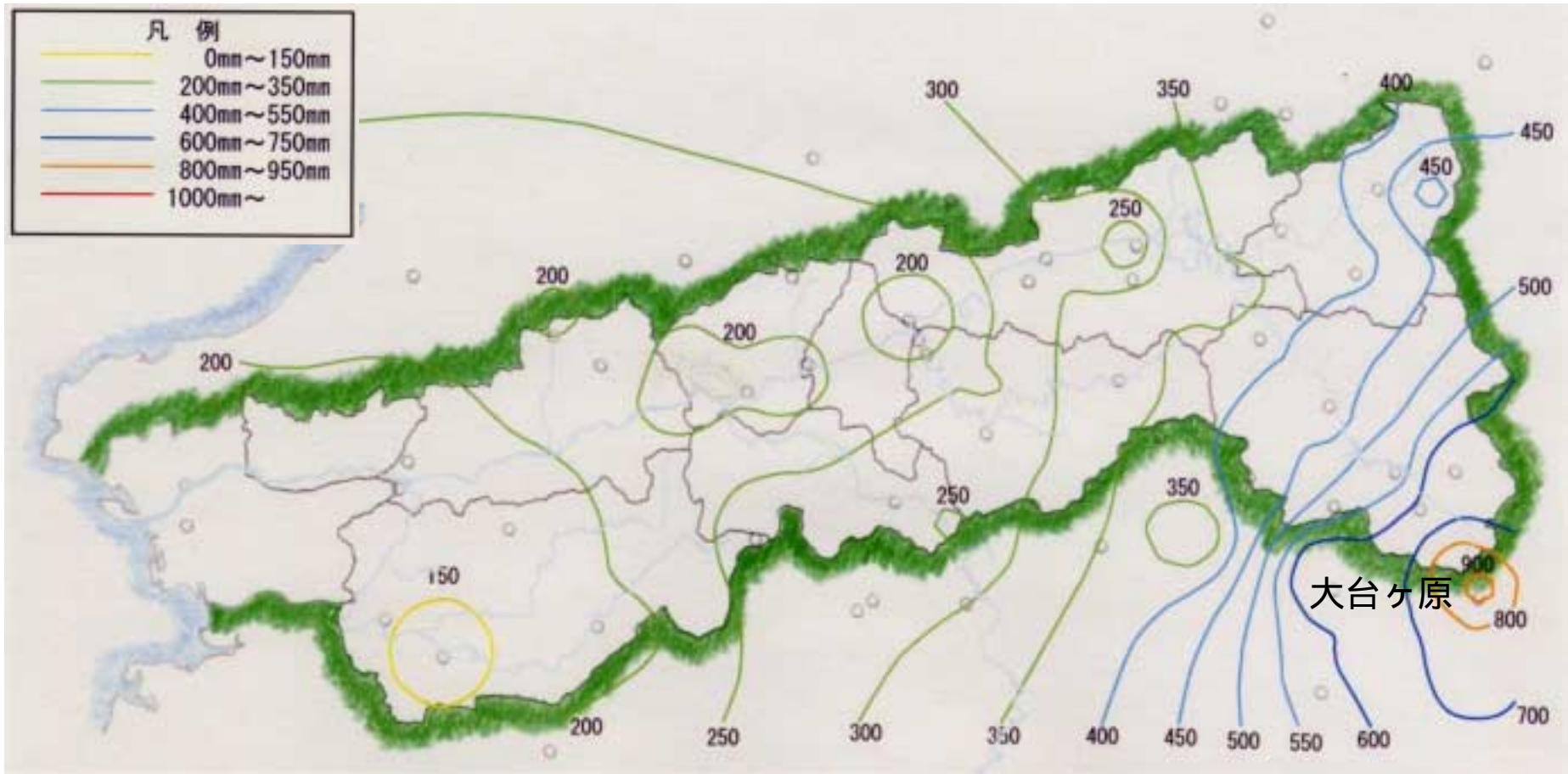
上流の日出岳で230mm程度、中流の高野で250mm程度、下流の岩出で120mm程度でした。



# 等雨量線図（2日雨量）

< 昭和57年8月 台風10号くずれ低気圧 >

上流多雨型であり、大台ヶ原で943mmを記録。

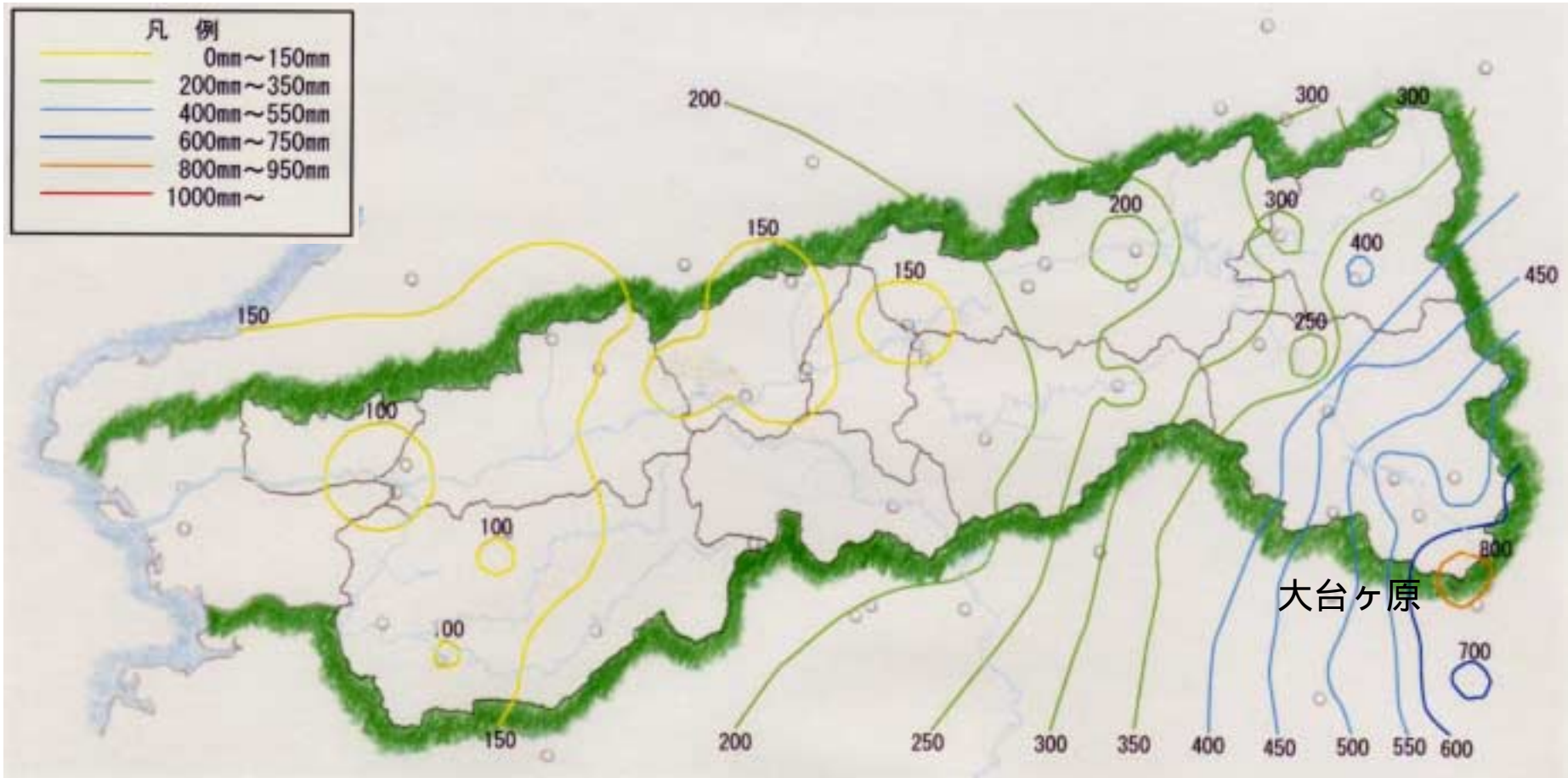




# 等雨量線図（2日雨量）

<平成2年9月 台風19号>

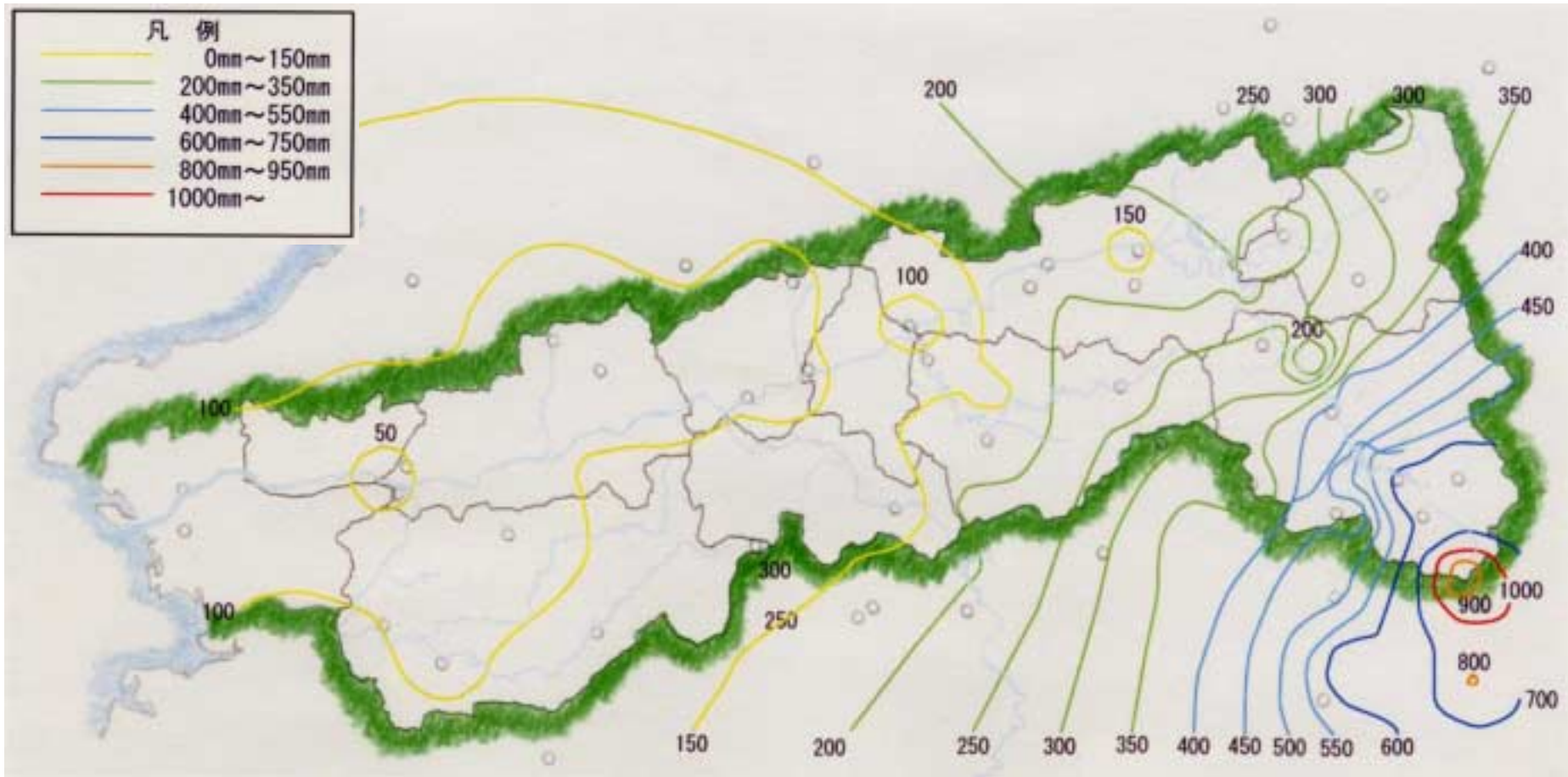
上流多雨型であり、大台ヶ原で809mmを記録。



# 等雨量線図（2日雨量）

<平成6年9月 台風26号>

上流多雨型であり、大台ヶ原で1034mmを記録。





# 等雨量線図（2日雨量）

<平成9年7月 台風9号>

上流多雨型の台風であり、上流の日出岳で932mmを記録。



# 洪水痕跡(1)

2.0K地点



紀の川大堰付近



# 洪水痕跡(2)

15.0K地点



岩出橋付近

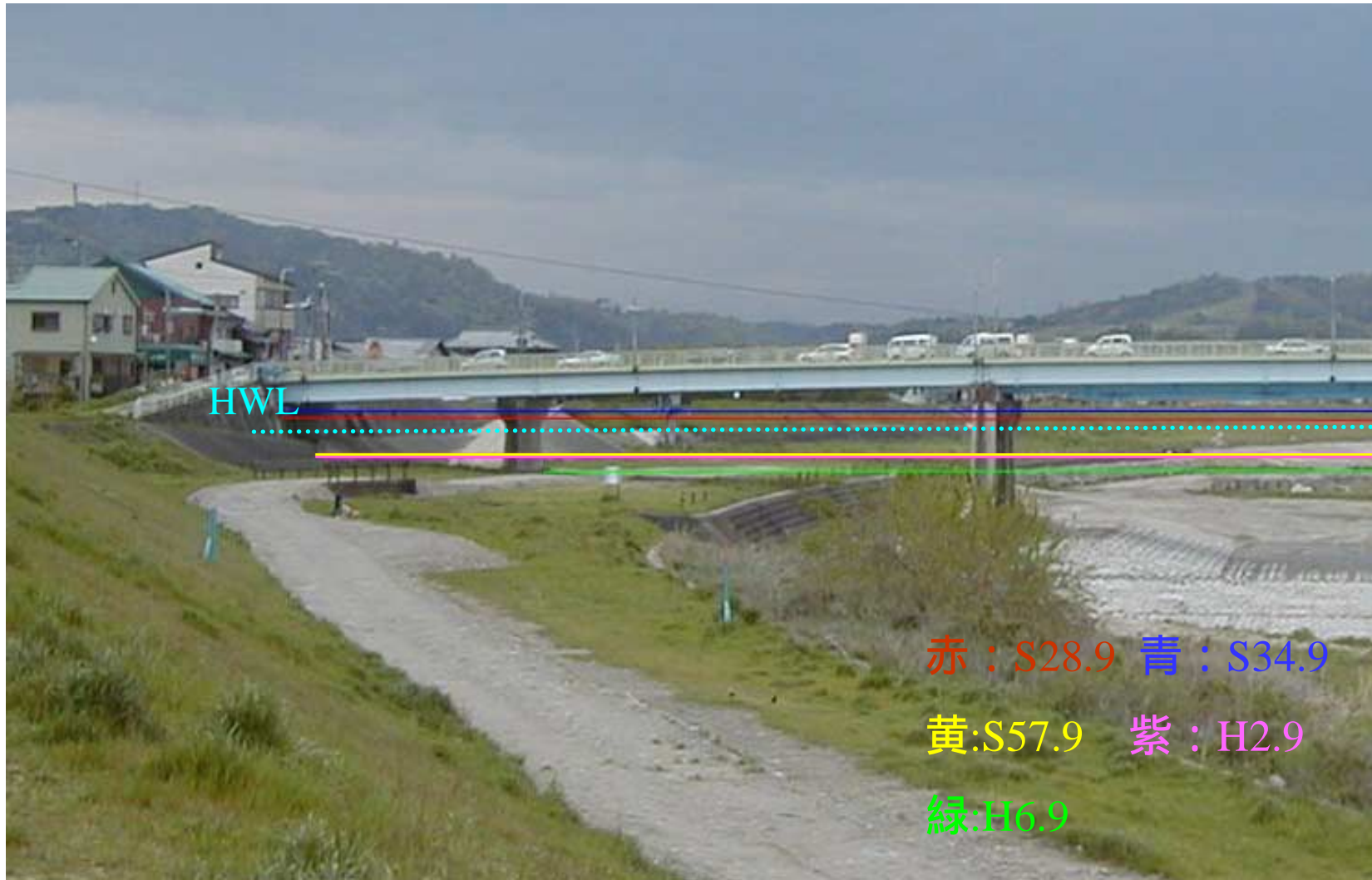
# 洪水痕跡(3)



三谷橋付近



# 洪水痕跡(4)



大川橋付近